ハモコミとは「ハーモニーのあるコミュニティづくり」という弊社の社是の略。
一人ひとりが自分を輝かせ、その集まりが全体として調和しイキイキしている様。
会社ではツールで、この通信ではネタ話で、側面からそれを応援します。

発 行　株式会社壱岐産業
〒981-8006
仙台市泉区黒松2-16-12
責任者　長谷川嘉宏
バックナンバーご覧いただけます
https://iki-sangyo.co.jp

新型コロナウィルスに負けず、やるべきことに集中します。コミュニケーションの良いネタの仕入れと編集です。生活に取り入れたり、仕事で生かすなどしていただけると本望です。どうぞお楽しみくださいませ。

◎屋久杉から学ぶ

Ｋさんは仕事が増える中、ミスが重なり、自信を持てずにいました。次第に《 自分が成長できないのは、職場の環境のせいだ 》と思うようになったのです。

そのような時、鹿児島県の屋久島に行く機会がありました。圧巻の屋久杉を見ながら、ガイドの話を聞いていたＫさんは、心を打たれました。

杉の平均寿命は五百年余りといわれています。屋久杉は、環境が悪い中でも樹齢二千年を超える巨木があります。

花崗岩で栄養分の少ない山地に自生するため、成長が遅くなります。その分、年輪の幅が緻密になり、材は硬くなります。

また、樹脂の量が多いという特徴を持っています。樹脂には防腐効果があるため、長い年月でも腐らず、幹が硬いため折れずに生き続けられるのです。

Ｋさんは、厳しい環境の中でも屋久杉が成長するたくましさを知り、自分の考えの甘さを反省しました。そして、《 これからは環境のせいにするのではなく、コツコツと努力し、時間をかけて成長していこう 》という気持ちになったのです。

Ｋさんの人生の幹は、これからきっと、硬くて丈夫になっていくでしょう。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

＜コメント＞

屋久島はぜひ訪れてみたいところです。そして縄文時代から生き続けている大先輩に触れてみたい。

人の寿命がもし二千年あったら、どう生きるでしょうか？　チコちゃんじゃないけれど、ボーっと生きている人と、何かコツコツと先を見据えて努力を重ねる人とでは、雲泥の差が生まれそうですね。

そして、千年に一度の天災だって２回経験するわけで、人災も数限りなく見ることになる。生き抜くだけで、すごいこととも言えます。

太宰府天満宮に「くすの木千年、さらに今年の若葉なり」という句碑があるそうです。

何歳になっても、若々しくいきましょう！

◎老いたればこそ

幼子を育てる親にとって、我が子の日々の成長は新鮮な感動を与えてくれます。

「初めてしゃべった」「歩きはじめた」など、子供の成長に伴う変化は、喜びを持って迎えられます。

一方で、加齢に伴う体の変化は、足腰が弱くなる、小さな文字が見えにくい、耳が遠くなるなど、どこか寂しさや情けなさ、あるいは悲しさという印象で捉えられがちです。

加齢による体の変化からは、誰も逃れられません。では、どう受け止めるべきでしょうか。

それは、あっさりと穏やかに受け入れる他ないのです。

《 こんなこともできなくなった 》という思いは横に置いておき、「長い間きちんと働いてくれてありがとう」と、体の隅々に感恩と慈しみの心を向けてみてはどうでしょう。

こうした受け止め方によって、加齢に伴う不自由な気持ちは和らぎ、新たな活力が湧いてくるはずです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

＜コメント＞

この受け止め方、素敵ですね。

私58歳。さすがにまだまだ加齢に伴う不自由さは感じていませんが、体の隅々へ心を向けることで、本当にそうだなぁ、と感じます。

86歳になる母宅のトイレには、日めくりカレンダーがかけてあり、いつ行っても「その日」になっています。つまり毎日ちゃんと見てるのです。

岡本肇さんの「今日を楽しむ猫語録」というもので、すっとぼけた表情の猫のイラストとともに、言葉が、実に高齢者向き（笑）。程よくお気楽で、程よく励ましがあり、程よく前向きです。

たとえばこんな感じです。
「何もかもは出来なくても　何かひとつは出来る」
めくりながら毎日何を思っているのか…（笑）。

世の中の騒動とは関係なく、春分の日を過ぎ、日の出が早くなりました。桜満開の仙台です。

CDプレゼント

久しぶりに聞いたら、とっても良かったので、今月はコレ。

斎藤一人さんの『マスターの教え』『人は天に可愛がられている』『天の声を聞く、世間の声を聞く』『絶対に勝てる人、絶対に負ける人』という100回聞きシリーズの1つです。

くすの木千年の話も、少し違う表現で紹介されています。
どうぞご遠慮なくお申し込みください。

現場をイキイキ 株式会社壱岐産業 ツールDEスイッチ ON